

つくば市記者会 御中

発信日：令和元年（2019年）11月19日（火）

発信元：つくば市経済部スタートアップ推進室
市民部国際交流室

■取材依頼 ■周知依頼 □募集告知 □その他

国内自治体初！ 世界最大級のイノベーションハブ 米CICとスタートアップの相互支援に 関するMOU締結！



【CIC（ケンブリッジイノベーションセンター）とMOU締結】

2019年11月18日、つくば市は、世界最大級のイノベーションハブであるCICと、スタートアップの相互支援に関するMOU（Memorandum Of Understanding：日本語訳了解覚書）を締結しました。

このMOU締結により、つくば地域及びケンブリッジ地域でビジネスの展開を目指すスタートアップが、つくば市及びCICが所有するコワーキングスペースの相互利用が可能になります。

当市のスタートアップ支援に関して、初の海外機関との連携事例であり、CICと日本の自治体とのスタートアップに関するMOUの締結は、国内初の事例となります。

※ケンブリッジイノベーションセンター概要、MOUの内容及び背景は別紙記載

【ケンブリッジ市とも姉妹都市協定書を再締結】

2019年11月18日、CICとのMOU締結に先立ち、五十嵐市長が市長として31年ぶりにケンブリッジ市を訪問し、Marc C. McGovern市長と会談しました。

1984年の姉妹都市締結以来、35年ぶりに協定書の内容を見直し、新たにスタートアップ分野での協力や教育、科学、イノベーション等での交流を盛り込んだ協定書として更新しました。今後はケンブリッジ市とも連携を密にし、相互理解と関係をより発展させていきます。



CICとMOU締結（写真提供可）



ケンブリッジ市と姉妹協定書を再締結(写真提供可)

ケンブリッジイノベーションセンター

ケンブリッジイノベーションセンター（Cambridge Innovation Center : CIC）は1999年、マサチューセッツ州ケンブリッジでティモシー・ロウとアンドリュー・オルムステッドにより設立された世界最大のスタートアップ集積拠点の運営会社。現在はアメリカとヨーロッパの7都市で起業家コミュニティを形成し、1,800社以上の企業が入居している。起業活動を支援する多面的なコミュニティを形成することにより、イノベーションを通じて世界の課題を解決することをミッションとする。

過去の著名な入居：リッチ・マイナー（Android共同創始者）等

MOUの内容

主な内容は以下のとおり。

- ・つくばスタートアップパーク及びCIC間の会員相互利用
1週間を上限にコワーキングスペースの相互利用を可能とする。
- ・つくばにおけるスタートアップコミュニティづくりに対するCICとの連携
CICのノウハウを活かして、ネットワーキングイベント等を開催

MOUの背景

平成30年(2018年)12月に策定したつくば市スタートアップ戦略では、「スタートアップ推進に向けたパートナーシップの強化」を施策のひとつとして掲げており、つくば市の姉妹都市及び友好都市とのネットワークを活かし、スタートアップの相互交流促進、海外展開支援等に取り組んでいる。

米国ケンブリッジ市はつくば市の姉妹都市であり、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学(MIT)等の世界最高峰の学術機関、全米有数の病院システム、起業支援機関が集積している。

特にMIT近接のケンダルスクエアには、バイオ・製薬、IT・データ、エネルギー関連等のスタートアップや大企業、ベンチャーキャピタル（VC）、起業支援組織が集積し、イノベーションの一大拠点を形成しており、ケンブリッジイノベーションセンターは、この地区における起業支援の中心的な役割を担っている。

つくば市は、CICの姉妹組織である Venture Café の日本法人、ベンチャー・カフェ東京と過去2回イベントを共催しており、地域間相互交流の更なる活性化、海外展開を目指すスタートアップへのアクセス支援を目的に、MOUの締結に至った。



姉妹都市協定書

日米両国間に培われた友情と結束に鑑み、

両市の願いに合わせて、また、すでに両市の間で実現されてきた、そしてこれから実現されようとしている多くの事業に倣い、

日本国茨城県つくば市（当時の谷田部町）と米国マサチューセッツ州ケンブリッジ市の両首長は、1983年10月24日にケンブリッジ市議会の採択を得、ケンブリッジ市議会及び谷田部町議会の後援の下、姉妹都市としての関係を確認した。この相互協定の目的は、相互理解の促進並びに両市民間での信頼及び敬意に基づいた関係を構築することにある。

両市長は、ビジネス分野でのスタートアップの促進において協力をし、他にも教育、科学、イノベーション、産業や経済発展の分野においての交流に協力することにここに合意した。これに基づき、両市は相互理解と友情をより強固なものとし、互いの福利を増進する。さらにはこの友情をもって世界の平和と繁栄に貢献する。

本協定書は日本語及び英語の両言語で作成され、等しく正文とし、署名の日から引き続き効力を生ずる。

日本国茨城県
つくば市長

米国マサチューセッツ州
ケンブリッジ市

五十嵐 立青

マーク マッガーバン

2019年11月18日

於米国マサチューセッツ州ケンブリッジ市



Sister City Agreement

November 18, 2019

Taking into account the existing links of friendship and solidarity between U.S.A and Japan;

In accordance with the wishes of both parties; and following the precedent of the numerous projects that have already been released and those that are in the process of being realized:

The Mayors of the City of Cambridge, Massachusetts, U.S.A and the City of Tsukuba (previously known as Yatabe Town), Ibaraki, Japan, confirm their relationship as SISTER CITIES under the auspices of both City/Town Councils and as adopted by the Cambridge City Council on October 24, 1983. The purpose of this reciprocal agreement is to further develop understanding and build the relationship between the communities based on mutual trust and respect.

The Mayors of the City of Cambridge and the City of Tsukuba hereby agree to cooperate through promoting business startups, and through supporting exchanges in areas such as education, science, innovation, industry and economic development. Each city will strive to enhance mutual friendship and understanding and improve the welfare of their citizens. Furthermore, through this friendship, they will contribute to world peace and prosperity.

This present agreement is created in both the English and Japanese languages, the texts being equally authoritative and effective upon the date of signing.

*Mayor of the City of Cambridge,
Massachusetts, USA*

*Mayor of the City of Tsukuba,
Ibaraki, Japan*

Marc C. McGovern

IGARASHI Tatsuo

Place: City of Cambridge, MA